

令和5年度

武蔵野市一井之頭地域子ども館一井之頭こどもクラブ

第三者評価結果報告書

## 武蔵野市こどもクラブ 第三者評価

### I 評価概要

#### (1) 評価対象

評価施設 武蔵野市一井之頭地域子ども館一井之頭こどもクラブ

#### (2) 評価機関

株式会社 日本生活介護

#### (3) 評価日程

令和5年12月11日～令和6年3月28日

訪問調査日 令和6年2月8日

### II 評価方法

#### (1) 評価結果の構成

・評価結果は、利用者の声を聞く「利用者調査」と事業者の自己評価をもとに評価者が分析した「事業評価」の結果で構成されます。  
・利用者調査結果は、各評価項目の回答状況で表します。  
・事業評価結果は、全体の評価講評(「特に良いと思う点」、「さらなる改善が望まれる点」)、事業者が特に力を入れている取り組み及び各評価項目についての評点及び講評で表します。

#### (2) 事業評価の表し方

事業評価は4つのカテゴリーに分けて評価する仕組みになっています。

##### 【カテゴリーの構成】

#### I 育成支援の基本方針と組織

- 1 理念・基本方針
- 2 運営状況の把握
- 3 事業計画の策定
- 4 育成支援の質の向上への組織的・計画的な取り組み

#### II 組織の運営管理

- 1 管理者の責任とリーダーシップ
- 2 福祉人材の確保・育成
- 3 運営の透明性の確保
- 4 地域との交流、地域貢献

#### III 適切な育成支援の実施

- 1 利用者本位の育成支援
- 2 育成支援の質の確保

#### IV 育成支援

- 1 子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備
- 2 学童クラブにおける育成支援
- 3 子ども一人ひとりと集団全体の生活を豊かにする育成支援
- 4 固有の援助を必要とする子どもへの適切な育成支援
- 5 適切なおやつを提供
- 6 安全と衛生の確保
- 7 保護者・学校との連携

#### ●カテゴリーの評点

各評価項目はその評価項目に属する1～7個の標準項目(※)について、実施が確認できたものを「あり」、実施が確認できないものを「なし」で表し、それらを並べたものが評点です。  
※標準項目は、武蔵野市が福祉サービスの質の向上を図る観点から、標準的に実施していることが必要であると認められる事項、または実施するための仕組みがあることが必要であると認められる事項を基本とし、学童クラブとして必要とされる標準的な評価項目で構成しています。なお、標準項目を確認できたとすることができるのは、①事業者が当該事項を実施していること、②その実施が継続的(必要性を認識し、計画的)であること、③その根拠が示せることを充足した場合です。

#### ●講評

評点だけでは、実際のサービスの具体的な状況や、それぞれの事業者が工夫している多様な取り組みを説明できないため、評点では表現しきれない事業者の実態や課題、サービスの現状等については、「講評」欄に記載されています。

## Ⅰ. 組織マネジメント項目（カテゴリーⅠ～Ⅲ）

カテゴリーⅠ. 育成支援の基本方針と組織

サブカテゴリーⅠ-1

理念・基本方針

評価項目 Ⅰ-1- (1)			評点 (○)
理念・基本方針、基本方針が確立・周知されている			
評価	標準項目		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	理念、基本方針が明文化され、周知が図られている	

サブカテゴリーⅠ-2

運営状況の把握

評価項目 Ⅰ-2- (1)			評点 (○○)
経営環境の変化等に対応している			
評価	標準項目		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	事業経営を取り巻く環境と経営状況が的確に把握・分析されている	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	運営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている	

サブカテゴリーⅠ-3

事業計画の策定

評価項目 Ⅰ-3- (1)			評点 (○○)
中・長期的なビジョンと計画が明確にされている			
評価	標準項目		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	中・長期的なビジョンを踏まえた単年度の計画が策定されている	

評価項目 Ⅰ-3- (2)			評点 (○○)
事業計画が適切に策定されている			
評価	標準項目		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している	

サブカテゴリーⅠ-4

事業計画の策定

評価項目 Ⅰ-4- (1)			評点 (○○)
質の向上に向けた取り組みが組織的・計画的に行われている			
評価	標準項目		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	学童クラブの質の向上に向けた取り組みが組織的に行われ、機能している	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している	

カテゴリーⅠの講評

市の育成指針の周知をし、それを基に地域子ども館の年間計画を策定している

武蔵野市学童クラブ育成指針を新入職員研修時に配布して、説明と周知をしている。また、定期的に育成委員会で読み合わせと確認を行っている。加えて、利用希望者等が確認できるように、市のホームページで公開している。学童クラブでは、育成指針を基に独自の重点目標を設定し、それに準じた年間計画を作成している。主に遊びから自己実現や社会性を学び、行事等で表現力を身につけるなど、自立に向けた育成を目標としている。指針と運営方針はマニュアル集にまとめられ、誰でも確認できるようにしている。

中期計画に基づいた単年度計画を策定し、定期的に見直しを図っている

市の5ヶ年計画である第五次子どもプラン武蔵野を基に、子ども協会が中期計画を策定している。これらの計画内容と学童クラブの重点目標を合わせ、職員全体の意見を反映させて単年度の年間計画を作成している。年間計画は半期ごとに振り返りと進捗状況の確認を行い、目標達成に努めている。年度末の報告で上がった課題は次年度の計画に盛り込まれ、新たな取り組みとして設定されている。今後は、第五次子どもプラン武蔵野や協会の中期計画を職員がさらに意識できるように周知し、より連続性を持った単年度計画の作成を目指していきたいとしている。

サービスの質の向上に向けて、各種取り組みを行い、年度毎に見直しと改善をしている

各館の職員で構成される育成委員会や障害児委員会では、育成に関する課題の検討や事例の共有を行い、適切な育成支援に向けた話し合いを行っている。発達に応じた支援にはアドバイザーと育成相談員が定期的に学童クラブを巡回し、個々のケースについての助言を行っている。市では毎年、保護者アンケートを実施し、その結果をホームページで公表するとともに、各館へのフィードバックと協会全体の振り返りに活用し、サービスの質の向上に取り組んでいる。

カテゴリー II. 組織の運営管理

サブカテゴリー II-1

管理者の責任とリーダーシップ

評価項目 II-1- (1)		
管理者の責任が明確にされている		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	児童青少年課・子ども協会・館長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し、理解を図っている
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている

  

評価項目 II-1- (2)		
館長のリーダーシップが発揮されている		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	学童クラブの質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している

サブカテゴリー II-2

福祉人材の確保・育成

評価項目 II-2- (1)		
福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	総合的な人事管理が行われている

  

評価項目 II-2- (2)		
職員の就業状況に配慮がなされている		評点 (〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる

  

評価項目 II-2- (3)		
職員の質の向上に向けた体制が確立されている		評点 (〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている

  

評価項目 II-2- (4)		
子どもや保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている		評点 (〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	子どもや保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、子どもや保護者等に周知している
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	③	子どもや保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している

サブカテゴリ II-3

管理者の責任とリーダーシップ

評価項目 II-3-(1)		運営の透明性を確保するための取組が行われている		評点 (〇〇)
評価	標準項目			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている		

サブカテゴリ II-4

地域との交流、地域貢献

評価項目 II-4-(1)		地域との関係が適切に確保されている		評点 (〇〇)
評価	標準項目			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	学童クラブと地域との交流を広げるための取組を行っている		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		

評価項目 II-4-(2)		関係機関との連携が確保されている		評点 (〇)
評価	標準項目			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	学童クラブとして必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている		

評価項目 II-4-(3)		地域の福祉向上のための取組を行っている		評点 (〇〇)
評価	標準項目			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている		

カテゴリ II の講評

<p>武蔵野市学童クラブ育成指針の内容の理解を深め、適切な運営に努めている</p> <p>市が定める武蔵野市学童クラブ育成指針は、学童クラブの役割や業務について詳細な内容を示している。この指針を基に、法令と合わせて、より理解が深まるようにしている。定期的に行われる職員ミーティングでは、事業計画の作成時に運営指針解説書の内容を確認し、適切な運営と業務に取り組んでいる。また、このミーティングでは館長を中心として、育成支援に関わる意見交換やグループワークを行い、サービスの質の向上に向けて取り組んでいる。</p>
<p>計画的な職員採用と育成を行い、長く働ける職場づくりに取り組んでいる</p> <p>将来の人材確保に向けて、インターンシップの実施や大学の授業の一環としての教育体験活動を受け入れ、学童クラブの役割についての理解を広めている。職員採用に関しては、利用者数の状況や保護者の就労状況を把握し、毎年の採用予定人数を決定している。また、長期間働ける職場を目指し、内定時の施設見学や面談を行い、早期退職防止に向けて取り組んでいる。さらに、キャリアパスや職位に応じた研修計画を定めることで、職員の将来的な展望と専門性の向上に重点を置いて育成を行っている。</p>
<p>地域の関係機関との連携体制を整え、安全で安心な地域社会づくりに貢献している</p> <p>子育て支援ネットワークに参画し、各機関の役割を把握し、連携体制を整えている。特に支援が必要な子どもや家庭に関しては、定例ミーティングや情報交換を子ども家庭支援センターと行い、共有をしている。地域との連携は地域子ども館推進会議を通じて、校長、PTA、コミュニティセンター、民生委員、青少年問題協議会(青少協)と協力体制を敷き、子どもが安全に暮らせる地域社会づくりに取り組んでいる。特に青少協とは地域イベントや地域子ども館のイベントを共催することで、子どもの地域社会との関わりを広めている。</p>

カテゴリーⅢ. 適切な育成支援の実施

サブカテゴリーⅢ-1

利用者本位の育成支援

<b>評価項目 Ⅲ-1- (1)</b>			<b>子どもや保護者等を尊重する姿勢が明示されている</b>	<b>評点 (〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	子どもや保護者等を尊重した育成支援について共通の理解を持つための取組を行っている		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	子どもや保護者等のプライバシー保護に配慮した育成支援が行われている		
<b>評価項目 Ⅲ-1- (2)</b>				
<b>育成支援の提供に関する説明と同意 (自己決定) が適切に行われている</b>				<b>評点 (〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	利用希望者に対して学童クラブ選択に必要な情報を積極的に提供している		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	学童クラブの利用開始・変更にあたり、子どもや保護者等にわかりやすく説明している		
<b>評価項目 Ⅲ-1- (3)</b>				
<b>子どもや保護者等の満足の向上に努めている</b>				<b>評点 (〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	子どもや保護者等の満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている		
<b>評価項目 Ⅲ-1- (4)</b>				
<b>子どもや保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている</b>				<b>評点 (〇〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	子どもや保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、子どもや保護者等に周知している		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	③	子どもや保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している		
<b>評価項目 Ⅲ-1- (5)</b>				
<b>安心・安全な育成支援のための組織的な取組が行われている</b>				<b>評点 (〇〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	安心・安全な育成支援を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	③	事故・災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている		

サブカテゴリⅢ-2

育成支援の質の確保

<b>評価項目 Ⅲ-2- (1)</b> <b>提供する育成支援の標準的な実施方法が確立している</b>		<b>評点 (〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	① 育成支援について標準的な実施方法が文書化され、育成支援が提供されている	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している	
<b>評価項目 Ⅲ-2- (2)</b> <b>子どもに対する育成支援の計画が策定されている</b>		<b>評点 (〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	① 育成支援の計画を適切に策定している	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	② 定期的に育成支援の計画の評価・見直しを行っている	
<b>評価項目 Ⅲ-2- (3)</b> <b>育成支援実施の記録が適切に行われている</b>		<b>評点 (〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	① 子どもに関する育成支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	② 子どもや保護者等に関する記録の管理体制が確立している	
<b>カテゴリⅢの講評</b>		
保護者の意向や要望を聞き取る場を複数設け、必要に応じて面談を行っている		
保護者会は学期毎に開催され、全体の取り組みや学年ごとの様子、課題についての説明をしている。会の中では質疑応答の場も設けられ、保護者の意向を聞き取っている。また、日々連絡帳を通じて保護者と子どもの様子の情報共有や子育て相談に応じるとともに、要望があれば個別の面談を行っている。加えて、要望や苦情に関しては担当職員と館長が受け付ける他、市の児童青少年課でも受け付けている。日頃から子どもとの関わりの中で、悩み事相談にのり、毎日の振り返りの中で情報共有し、解決に向けた話し合いと対応を行っている。		
学校と連携したリスクマネジメントを行い、子どもへの安全意識を高めている		
コロナ禍の影響を受け、子どもの感染症対策としての手洗いや消毒などの意識付けを徹底している。また、季節性の感染症については学校との情報共有を行い、安全を確保した上での運営方法に関する決まりを設けている。自然災害に備えて、学期毎に避難訓練を実施し、子どもが自身で安全を確保できるよう訓練を重ねている。今回実施した子どものアンケートからも、災害時の安全意識の高さが伺え、取り組みの成果が見られている。		
市の地域子ども館全体の統一した安全計画の策定や、市の方針に基づいた情報漏洩防止に努めている		
定期的に行う主任会議では、安全計画やより適切な育成支援に向けて、検討と見直しを行っている。育成委員会と障害児委員会では、事例検討に加え、他館の見学を行い、フィードバックを行う等、市の地域子ども館全体の育成支援の質の向上に取り組んでいる。学童クラブは4つのグループに分かれており、日々の情報共有の重要性を認識し、共有ファイルサーバーを構築して効率化を目指している。これは市の情報セキュリティ基本方針に基づいて運用し、情報漏洩防止に向けた対策とルール作りをしている。職員からは記録や保護者への連絡等の、さらなる効率化を求める声が挙がっており、今後の効率化に向けた取り組みに期待が寄せられている。		



**育成支援（カテゴリーⅣ）**

## サブカテゴリーⅣ-1

子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備

評価項目 Ⅳ-1- (1)		子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整備している		評点 (〇〇)
評価	標準項目			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	室内のレイアウトや装飾等にも配慮し、子どもが心地よく過ごせるような生活環境づくりに取り組んでいる		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	子どもが宿題や読書、自習等の学習活動を自主的に行える環境づくりに取り組んでいる		
カテゴリーⅣ-1の講評				
各学童に必要なスペースが確保され、場所や部屋の使い分けにより、子どもたちが安心して過ごせる環境となっている				
<p>小学校の校舎内にあそべえ、3つの支援単位、離れた体育館に1つの支援単位が配置されているが、孤立しないような連携体制を整えている。各支援単位には、事務スペース、おやつ用の台所、保管場所が確保され、必要に応じてクールダウンや静養ができるよう、部屋の仕切りやカーテンなどの工夫が施されている。また、伝統的な遊具であるけん玉・お手玉・コマからボードゲーム、工作材料、書籍等の配置を工夫することで、落ち着いて遊べるエリアと活発に遊べるエリアを設けている。さらに、一つの支援単位で映画会を行う際は、他の支援単位では自由遊びができるよう部屋の使い分けが行われ、季節ごとの装飾や掲示を通じて子どもたちが季節の変化を感じられるよう配慮している。</p>				
<p>全員が静かに座り、宿題や読書をする時間を設け、子どもたちが自主的に学習活動に取り組む環境を整えている。</p> <p>学童クラブの日々の育成においては、一日のスケジュールが大まかに決められている。子どもたちは15時前後にはほぼ全員が登所し宿題や読書に取り組む時間を設けている。並行して、おやつ準備を行うなど、効率的に業務を行うことで、遊びの時間を確保している。この宿題の時間では全員が静かに座り、集中して勉強や読書に取り組んでいる。個別の宿題指導は原則行なわないが、必要に応じて励ましや見守りが行われ、子どもたちが自主的に学習に取り組む習慣を身に付けるよう支援している。</p>				

サブカテゴリⅣ-2

学童クラブにおける育成支援

評価項目 Ⅳ-2- (1)		子どもが学童クラブに自ら進んで通い続けられるように援助している	評点 (〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	学童クラブに通う必要性を子どもが理解できるよう保護者とともに援助し、放課後及び学校休業日の生活の場として、一人ひとりの子どもが尊重され、安心してのびのびと過ごせる場となるよう配慮している	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	新入会の子どもについては、利用者の開始前に子どもや家庭の状況、保護者の希望を聴き取るとともに、学童クラブでの過ごし方について伝え、保護者と情報交換している	

  

評価項目 Ⅳ-2- (2)		子どもの出欠席を把握し、適切に援助している	評点 (〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	出欠席、登所、退所等についての報告は保護者から直接受け、子どもの所在を把握している	

カテゴリⅣ-2の講評

<p>学童クラブに通う必要性を子どもたちに分かりやすく伝え、安心して過ごせる環境を提供している</p> <p>子どもたちには、なぜ学童クラブに通うのか、その必要性について、機会をとらえて丁寧に説明するとともに、時に子どものほうから疑問が生まれた際には、繰り返し説明することで原点に戻って意識できるようにしている。1年生には保護者が安心して働き、その間に安全に過ごすことができる場所であることを伝えている。学年が上がるに連れて、学童クラブに行きたくない気持ちが生じた時には、誰が必要としているものなのか、そのために自分はどう行動すべきかを考えてもらい、納得ができるように話し合っている。</p>
<p>入会説明会で、クラブの生活について説明し、保護者との情報交換により子どもの状況を把握している。</p> <p>毎年2月中旬に、「武蔵野市学童クラブ入会案内」と「井之頭子どもクラブ入会説明会資料」を基に入会説明会を実施し、クラブの生活について詳しく説明している。また、新入会の保護者からは児童調査票などの書類を個別に受け取り、気になる事柄について聞き取りを行い、相談も受け付けている。必要に応じて、保育園等からの情報も収集している。保護者の不安や疑問に対していつでも質問を受け付ける体制であることも伝えている。保護者との情報交換を通じて、子どもたちの状況を把握し、保護者の不安を解消し、安心感を得られるような対応に努めている。</p>
<p>連絡帳や電話にて保護者から直接連絡を受け、日々の連絡帳での保護者との共有により、子どもの所在確認に努めている</p> <p>出欠席や退所時間の連絡は、保護者から電話や連絡帳を通じて行っている。電話を受けた場合はメモを取り、出席簿、ホワイトボードに転記する等の手順を定め、伝え忘れが無いように職員間でのチェックを行う事が決められている。また、保護者には連絡帳に、1週間分の出欠席と降所時間の記入を依頼し、急な変更に対応出来るように、毎日、連絡帳にお迎えの有無と降所時間の記入をお願いしている。その連絡帳を基に、ホワイトボードへの貼り付けを行い、情報管理をしている。出席予定の子どもが登所しない場合は、学校に見に行き、保護者にも連絡して所在確認を行っている。</p>

サブカテゴリⅣ-3

子ども一人ひとりと集団全体の生活を豊かにする育成支援

評価項目 Ⅳ-3- (1)		評点 (○)
子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるように援助している		
評価	標準項目	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	子ども自身が見通しをもって主体的に過ごせるよう、全体に共通にする生活時間の区切りをつくり、放課後等の時間を自己管理できるように支援している

カテゴリⅣ-3- (1) の講評

<p>その日の予定や連絡事項を子どもたちに分かりやすく周知し、見通しをもって主体的に過ごせるよう支援している</p> <p>井之頭こどもクラブでは4つの支援単位に分かれているが、毎日のミーティングでは全職員が集まり、育成の流れを確認し、ホワイトボードにスケジュールを書き入れ、掲示している。子どもたちはボードや時計を見ながら、自分の予定を把握し、放課後の時間を過ごす。おやつ前の時間には、その日の予定や連絡事項について子どもたちにわかりやすく周知している。「自分で考える力(自立自主の力)を育む」という理念に基づき、職員の指示で動くのではなく、子どもたち自身が司会や進行の役割を担うことで主体的な行動ができるよう支援している。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価項目 Ⅳ-3- (2)		評点 (○○)
日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得できるように援助している		
評価	標準項目	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	あいさつや自分のことは自分で行う等の基本的な生活習慣が身に付き、自立につながるよう支援する
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	子どもが協力し合って学童クラブの生活を維持していくことができるよう、集団で過ごすという特性を踏まえて、一緒に過ごす上で求められる協力及び分担や決まりごと等を理解できるよう支援している

カテゴリⅣ-3- (2) の講評

<p>職員は行動を見守り、子どもたち自身が気づきを得られるよう働きかけ、基本的な生活習慣の定着を図っている</p> <p>年度初めには、過度な支援とならないように注意しつつ、「ただいま」などの挨拶や「手洗い・うがい」、「連絡帳を出す」といった基本的な生活習慣が身につくように声掛けをしている。また、上級生は下級生に「時間だよ」「片付けだから呼んでくる」といった声掛けを行うことで、互いに声を掛け合うようになるなど、子ども同士の関わりが生まれるよう見守っている。職員は即座に声をかけるのではなく、子どもたちが自ら気づきを得られるように働きかけている。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>学童クラブにおける3年生のリーダーシップへのあこがれと2年生への意思の継承がおこなわれ集団が育っている</p> <p>学童クラブ内のルールは、子ども同士で協力しあって守るように職員が働きかけている。おやつ時は、各班ごとに着席し、3年生が中心となり、1・2年生に声をかけている。また、お店屋さんごっこの際には、異年齢で構成された班の中で役割を分担し、企画運営する活動を通して、協力関係を深めている。職員は、日々3年生の努力や良いところを評価すると同時に、1・2年生にはそれぞれの役割があり、協力することの重要性を伝えている。年度末には、2年生が3年生の意志を受け継ぎ、班をまとめていく体制が引き継がれている。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価項目 IV-3- (3)

子どもが発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるように援助している

評点 (〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	① 日常の子どもの心身の状況を把握し、健康管理を適切に行っている
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	② 子どもの発達状況、家庭状況、学校での生活等を把握し、一人ひとりの心身の理解に取り組んでいる
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	③ 制作活動や伝承遊び、地域の文化に触れる体験等の多様な活動や遊びを工夫している
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	④ 自由遊びにおいては、発達段階に応じた主体的な遊びにより、一人ひとりの力や意欲が引き出せるよう支援している
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	⑤ 遊びや各種活動を通して、自主性、社会性、創造性、協調性が育つよう支援している
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	⑥ あそべえや地域の公園等、学童クラブ以外の空間も活用し、子どもが快適に過ごす環境作りに努めている
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	⑦ あそべえ、コミュニティセンター、児童館等の行事に参加するとともに、校庭や公園等を活用し、子どもの遊びの範囲が広がるよう支援している

カテゴリ IV-3- (3) の講評

各種書類や日常の子どもたちの様子、学校との情報共有により、一人ひとりの心身の理解に努め、育成している

登所時や自由遊びの時間、そしておやつ時など、様々な場面で子どもの様子を観察し、いつもと違う様子が見られた場合は、話を聞くことや体調の確認を行い、保護者に連絡をしている。また、必要に応じて保護者に迎えを要請している。子どもの発達状況や家庭環境については、児童調査票や日々の育成の様子、保護者とのコミュニケーションや面談を通じて把握している。さらに、学校との定期的な情報交換を行い、校長や副校長を通し担任との情報共有を図っている。多角的な視点からの情報を総合し、子どもの状況を的確に把握するよう努めている。

個々の子どもが、けん玉検定などに目標をもって取り組み、達成感を味わうことにより、成長につなげる支援をしている

1年生の歓迎会では、2・3年生がけん玉などの伝統的な遊びを披露する場を設け、伝統的な遊びの楽しさを伝えている。けん玉検定制度を導入し、子どもが達成感を味わえるよう工夫している。多くの技を習得し、級が上がるとマイけん玉を贈呈するなど、子どもたちの励みにもなっている。その他にも、多様な遊びを用意し、子どもたちが興味を持ち、仲間同士で教え合いながら楽しめるように遊具を充実させている。行事の開催については、3年生の会議で話し合いを行い、子どもたち中心となって準備や運営を協力して行っている。職員は行事の成功に向けて必要な支援を行い、子どもたちが目標達成することを支えている。

学童クラブ室以外の空間も活用し学童クラブ以外の友達との遊びの機会を提供し、子どもの遊びが広がる支援が行われている

学童クラブでは、あそべえや校庭、図書室などの空間も積極的に活用し、子どもが学童クラブ以外の友達とも遊ぶ機会を提供している。これにより、子ども同士の新たな関わりの機会を増やしている。また、あそべえと学童クラブの職員配置は連携させることで、子どもが安心して遊ぶことができる環境に配慮している。あそべえ通信では、工作やイベントの予定を掲載し、多くの学童クラブの子どもも参加している。また、児童館やコミュニティセンターのイベントはポスターや掲示物を通じて情報提供を行い、子どもの遊びが広がるよう支援している。

評価項目 IV-3- (4)		子ども同士の関係を豊かに作り出せるように援助している		評点 (〇〇〇〇)
評価	標準項目			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	集団遊びにおいては、異年齢で、また、大勢で遊ぶ楽しさを共有でき、良い仲間関係が築けるよう支援している		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	遊びや生活の中で生じる意見の対立やけんか等については、お互いの考え方の違いに気付くこと、葛藤の調整や感情の高ぶりを和らげることができるよう、関わりを通して相手を理解する姿勢と許容する気持ちや忍耐力を養うよう支援している		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	③	異年齢集団での班活動や当番活動の中で、他の子どもへの積極的な関わりを促し、友達や年下の仲間を思いやる気持ちを育てるよう支援している		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	④	子どもの間でいじめ等の問題が生じないように配慮するとともに、万一、そのような問題が起きた時には早期対応に努め、保護者や学校と連携して適切な対応を行っている		
カテゴリーIV-3- (4) の講評				
<p>集団遊びを楽しみ仲間関係を築き、関わりを通して相手を理解できるよう支援している</p> <p>異年齢の仲間と遊びを通して、教え合い協力し、時には競い合うことで、仲間とのつながりや楽しさを感じられるよう支援している。子ども全員が集団遊びに親しむ機会として「仲良し遊び」の時間を設け、学校の冬時間の期間中では、学校の協力を得て校庭の使用時間を延長し、集団遊びを充実させている。遊びや生活の中で起こるトラブルに対しては、職員がそれぞれの子どもたちの気持ちや意見を尊重しながら丁寧に聞き取りをして、相手の気持ちや意見を理解できるよう話し、自身で解決できるように導き、子どもが成長する機会となるよう支援している。</p>				
<p>班長や上級生が他の子どもに積極的に関り、仲間を思いやる気持ちを育てている</p> <p>おやつ時間には、班長や上級生が準備や挨拶、おやつの受け取り等を行っている。班長や上級生は、用意されているおやつから、下級生の希望を聞いて班としてまとめておやつを受け取り、食べ終わった後はごみをまとめている。自分の役割を認識し、下級生の面倒を見ている。下級生は上級生の姿を見て学び、上級生になった時にその役割を引き継いでいる。外遊びができない日の班活動では、班ごとに行う簡単なゲームを上級生が主体となって考え、下級生に教えている。他の子どもへの積極的な関わりを促し、仲間を思いやる気持ちを育てている。</p>				
<p>いじめの兆候が見られた場合はすぐに事実確認を行い解決に向けた対応をしている</p> <p>日常的に子どもたちの様子や関係性を注意深く見守っており、いじめの兆候が見られた場合は、すぐに事実を確かめ、子どもたちに話し合いの機会を設けている。必要に応じて保護者に状況を伝え、家庭と学童クラブの双方で子どもに働きかけをしている。学校についても、校長・副校長を通してクラス担任と情報共有し、連携して対応している。保護者からの相談に対しても同様に、まず子どもたちから聞き取り、事実確認をしたうえで話し合いの場を設け、場合によっては支援員・主任支援員・館長を交えて保護者と協議し、最善の解決策を見つけるようにしている。</p>				

評価項目 IV-3- (5)		子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助している		評点 (〇〇〇)
評価	標準項目			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	人の話を聴く、自分の意思を伝える、相手の気持ちを受け止める等、人との関わりの中でコミュニケーションの力を培っていけるよう支援している		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	学童クラブの決まりやルール、遊び等に子どもの意見を反映させ、考える力や自主的判断、表現する力が養われるよう支援している		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	③	一人ひとりの子どもの発達や子ども同士の関係を捉えながら適切に関わり、学年や成長に合わせた育成を行っている		
カテゴリーIV-3- (5) の講評				
<p>自分の思いを言葉で伝える力や相手の言葉を聞いて考える力が育つよう支援している</p> <p>子どもたちのコミュニケーション能力を高めるために、言葉で伝えることや聞いて考えることの大切さを日常的に伝えている。コミュニケーションが苦手な子どもに対しては、職員が間に入って、子ども同士の気持ちのやりとりを促している。子どもの言葉から気持ちを読み取り、子どもに「こういう気持ちだったんだね」と職員が代弁することで、子どもたちが互いの気持ちを理解し、受け止められるよう援助している。また、子どもが行動に移す前に気持ちを言葉で表現することで、トラブルを防いだし解決することができるということを伝えている。</p>				
<p>遊びや行事に子どもの意見を反映させ、考えて判断する力や自己表現する力を養っている</p> <p>夏と冬に行っているお楽しみ会などの行事は、開催の可否を含めた3年生会議や各学年の会議を設けて話し合いを行い、子どもたちの意見を反映させている。班活動の遊びについても子どもたちで話し合い、内容を決めている。帰りの会でゲームを決める際には子どもたちの意見を聞き、時には子どもたちがゲームを取り仕切って行うこともある。このような経験を通して、子どもたちが自ら考えて判断する力や自己を表現する力を養うよう支援している。</p>				
<p>子どもの個性や友達との関係性を把握し、学年や成長に合わせた育成を行っている</p> <p>職員は、子どもの日頃の様子や集団遊びなどを通して一人ひとりに気を配り、子どもたちの個性や友達との関係性の把握と理解に努めている。子どもたちの変化をとらえ、声掛けしていくよう努めている。障害のある子や配慮の必要な子に対しては、支援計画を作成し育成相談員と連携して適切な支援を提供している。季節の工作や行事は、子どもたちの発達段階に応じて達成感や楽しさが感じられる内容にしている。伝承遊びでは、1年を通して段階的なプログラムを設定し、学年や成長に合わせた育成を行っている。</p>				

評価項目 IV-3-(6)		地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点 (〇〇〇)
評価	標準項目			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	あそべえと円滑な協力ができるよう定期的な打ち合わせを行い、子どもの遊びをより豊かにできるよう連携している		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	地域の人たちと広く交流を図り、運営の内容を適切に説明するとともに、地域の協力を得て連携して子どもを見守ることができるよう取り組んでいる		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	③	新1年生については、子どもの発達と生活の連続性を保障するために、保育所・幼稚園等と子どもの状況について情報交換や情報共有を行っている		
カテゴリーIV-3-(6)の講評				
<p><b>あそべえとの密な連携により子どもの遊びを豊かにしている</b></p> <p>あそべえとは毎日育成前に打ち合わせを行い、スケジュールの確認や共有事項について確認し、子どもたちに周知している。開放事業への参加のほか、毎月なあそべえ行事やスペシャル工作イベントに学童クラブの子が参加したり、学童クラブの集団遊びにあそべえの子が参加するなどして、所属や学年を超えた遊びが日常的に行われている。遊びの幅を広げ、子どもの遊びをより豊かにできるようあそべえと連携している。</p>				
<p><b>地域子ども館推進会議で活動報告を行い、あそべえを通して地域の方と交流している</b></p> <p>年6回地域子ども館推進会議を開催し、地域や関連団体の方々に活動内容や近況を報告し意見交換を行っている。地域の方々から子どもたちの安全や遊びに関する情報を教えてもらい、学童クラブの活動に反映させている。また、地域子ども館としてボランティア登録している高校生やPTA選出の「あそべえ委員」、地域の「推進会議委員」の方々にはあそべえに参加・協力してもらっており、あそべえを通して子どもたちと交流を深めている。</p>				
<p><b>保育園・幼稚園と協力して、子どもの発達と生活の連続性を支える役割を果たしている</b></p> <p>入会予定児童が多い保育園や幼稚園には、事前に職員が訪問して保育を観察し、担当者から保育環境や児童情報等について話を聞き、確認している。訪問予定のない園についても必要な場合は、電話等で情報収集をしている。収集した内容は職員全体で情報共有し、学童クラブで子どもが安全で快適に過ごすために活用して、子どもの発達と生活の連続性に配慮している。</p>				

サブカテゴリ-IV-4

固有の援助を必要とする子どもへの適切な育成支援

評価項目 IV-4- (1)		評点 (〇)
障害のある子どもの受入れの考え方を理解したうえで、受入れに努めている		
評価	標準項目	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	障害のある子どもの受入れの考え方を理解したうえで、受入れに努めている
評価項目 IV-4- (2)		評点 (〇〇〇)
障害のある子どもの育成支援に当たっての留意点を踏まえ、育成支援を行っている		
評価	標準項目	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	障害のある子どもの育成支援に当たっての留意点を踏まえ、育成支援を行っている
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	障害のある子どもや発達上に課題のある子どもが、学童クラブでの生活を通して共に成長できるように見通しをもって計画的な育成支援を行い、それぞれの特徴や状況に応じた遊びや生活の支援を行っている
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	③	障害のある子どもや気になる子ども育成については、定期的に専門相談員に相談し、家庭、学校、関係機関等と連携し、子どもにとってより良い育成ができるよう努めている
評価項目 IV-4- (3)		評点 (〇〇)
特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たって、関係機関と連携して適切な支援を行っている		
評価	標準項目	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	特別な支援が必要な状況を把握した場合や、特に配慮を必要とする子どもへの対応にあたって、関係機関と連携して適切な支援につなげるよう努めている
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	虐待の疑いがある場合や、子どもや保護者に異変を感じた場合は、慎重かつ迅速に子ども家庭支援センター等に報告するとともに、連携した対応を図っている
カテゴリ-IV-4の講評		
<p>保育園等での観察や入会審査会での意見を基に、受入れの考え方を理解して受け入れている</p> <p>新1年生の場合、事前に保育園等を訪問して対象児童の行動観察を行い、特性や必要な配慮について園と情報を共有している。また、障害児審査会に参加して、専門家の評価やアドバイスを受けており、それを基に入会決定後の育成の見通しを立てたうえで受入れている。入会前には保護者と面談を行って、対象児童への関り方や家庭での様子、配慮してほしい点等を確認し、保護者の要望にも寄り沿い、適切な支援につなげるよう努めている。</p>		
<p>研修と育成相談を活用し、育成目標に沿った支援を全職員で行っている</p> <p>職員は障害についての研修に参加して特性や対応について学び、実践に活かしている。臨床発達心理士等の資格を有する育成相談員による育成相談が年4回行われており、実際の育成の様子を見てもらいアドバイスを受けている。障害のある子ども一人ひとりの発達状況に応じて育成目標を設定し、職員全体で振り返りを行いながら育成している。障害のある子の苦手なことや好きなことをクラブの子どもたちにわかりやすく伝えて、子ども同士のかかわりが広がるよう努めている。月1回の学校との打合せの際に情報共有して学校とも連携しながら支援している。</p>		
<p>特に配慮を必要とする子どもの対応については、関連機関と連携して適切に支援している</p> <p>子どもについて気になる情報を得たり、個別の配慮が必要な状況を把握した場合は、館長から子ども家庭支援センターや学校に報告や相談をして、連携しながら対応している。子どもからの訴えや虐待が疑われる傷・あざ等を発見した場合は、子ども家庭支援センターにつなげている。また在籍児童のケースカンファレンスが開かれる際は、出席して関係機関と連携した対応を図っている。</p>		



サブカテゴリ-IV-5

適切なおやつを提供

評価項目 IV-5-(1)		評点 (〇)
放課後の時間帯におやつを適切に提供している		
評価	標準項目	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	① 補食となるおやつについては、放課後の時間帯に必要とされる栄養面や活力面を考慮し、内容や量、提供時間等を工夫し、子どもがおやつの時間を楽しめるように配慮している	
評価項目 IV-5-(2)		評点 (〇〇〇)
食に伴う事故（食物アレルギー事故、窒息事故、食中毒等）を防止するための対応を行っている		
評価	標準項目	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	① 食物アレルギーのある子どもについては、おやつの提供にあたり配慮すべきこと、緊急時の対応等について事前に保護者と丁寧に連絡を取り合い、安全に配慮しておやつを提供している	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	② 窒息事故等がないよう、安全確認を徹底し、危機管理体制を整えている	
カテゴリ-IV-5の講評		
<p>おやつは補食として栄養面や活力面が考慮され適切に提供されている</p> <p>栄養面、カロリー、味などのバランスや夕食に影響がない量を考慮しておやつを選定している。おやつは毎日4種類用意されており、それぞれの子どものその日のメニューから食べたいものを選び、各自好きなおやつを食べられるようにしている。また、3年生のリクエストおやつも取り入れられている。宿題など学習の後に子どもたちは自然におやつの準備に取り掛かることができ、班ごとの自席に座ることで、落ち着いて食べることができる環境設定をしている。また、おやつは、1週間分ずつ表にして記録し、おやつの提供状況や内容の把握に加え、見直しの際に活用している。</p>		
<p>アレルギーに対しマニュアルが整備されており事故を防止する対策が講じられている</p> <p>アレルギーのある子どもについては、保護者に事前の聞き取りを行い、安全なおやつ提供に努めている。個別に子どものアレルギー情報を記録し、緊急時の対応策をまとめ、職員間で確認している。さらに、年度ごとのアレルギー面談や除去食提供におけるマニュアルの見直しなど、安全対策を徹底している。除去食提供の児童には専用の容器で提供するなど細心の注意が払われている。しかし食品の細かい成分表に記載されていないアレルギー物質が含まれている場合があるため、おやつの選別については十分な情報が確認できるものを購入している。また、除去おやつでの対応も難しい子どもについては家庭からのおやつの持参で対応している。</p>		
<p>窒息事故が起きないようにおやつを選び提供時には職員が見守りをして注意喚起している</p> <p>おやつの時間は子どもたちの生活の一部として楽しい時間であり、窒息事故や誤嚥を防止するために適切な対策を講じている。おやつの発注時や提供時には、形状やサイズに細心の注意を払い、窒息のリスクを最小限に抑えるよう配慮している。のどに詰まりやすいものは購入しないなど職員間で共有されている。さらに、おやつを提供する際には、子どもが詰め込んで食べないように職員が子どもたちのそばにいて全体の様子を見守り事故防止に努めている。</p>		

サブカテゴリⅣ-6

安全と衛生の確保

評価項目 Ⅳ-6-(1)		子どもの安全を確保する取組を行っている		評点 (〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	施設や遊具の点検整備を定期的に行い、安全性の確保に取り組んでいる		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	学童クラブでの生活や行き帰りにおいて自らの安全を守るための行動について学習し習得できるよう援助し、安全指導を行っている		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	③	子ども本人や他の子どもの危険と安全に対する判断力が養われるよう配慮している		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	④	個々の子どもの通所コースを点検し、危険箇所等を子ども、保護者と共有することにより、通所時の安全を図っている		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	⑤	学童クラブでの育成中の事故、病気、怪我や子ども同士のけんか等のトラブルが生じた場合は、関係する子どもの保護者へ連絡するとともに、状況に応じて保護者や関係機関と連携協力することにより、迅速な解決を図っている		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	⑥	事故、犯罪、災害等から子どもを守るため、子どもの遊びや生活の環境及び帰宅時の安全等について、地域の人々の理解と協力が得られるよう努め、連携協力して子どもの安全を確保している		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	⑦	子どもの病気やケガ、事故等に備えて、日常的に地域の保健医療機関等と連携を図っている		
評価項目 Ⅳ-6-(2)		衛生管理に関する取組を適切に行っている		評点 (〇〇)
評価	標準項目			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	手洗いうがいの励行により、衛生的習慣を身に付けられるよう支援している		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	日々、施設や備品の清掃、おやつ等の衛生管理を行い、食中毒や感染症の発生の防止に努めている		
カテゴリⅣ-6の講評				
<p>子どもたちが帰宅時に自ら安全を確保するための行動を学ぶことを援助している</p> <p>帰宅時の安全指導を行い、定期的に帰り道での注意事項や約束事を確認をしている。年度初めには子どもたちの自宅の場所を地図に落とし込み、全員の安全な通学・帰宅コースを確認し、保護者と情報共有している。ホワイトイーグルとの連携で得られた情報や、市の防犯情報を確認し、必要に応じて子どもたちに注意喚起を行っている。また地域子ども館推進会議を通して地域の方に登下校の見守りをお願いしている。これらの取り組みを通して、子どもたちが自身で危険予知し、安全に行動できるよう意識付けを行っている。</p>				
<p>避難訓練や日々の言葉かけを通して子どもたちや職員が危険に対する対処法を学んでいる</p> <p>定期的にあそべえと合同避難訓練を行い、各職員の役割と動きを確認している。すべての職員が訓練に参加できるよう、実施曜日を変えている。想定も火事、地震、防犯と場面に応じた対処の仕方や知識を指導している。子ども達は小学校での避難訓練を含め複数回の訓練を行うことで迅速に行動できるようになっている。館長や職員が「自分の身は自分で守る」ということを常に子どもたちに伝えることで、子どもたちの意識は高く、訓練にまじめに取り組んでいる。しかし時間帯はいつも同じおやつ後に実施していることから、時間帯についても今後、検討していきたいとしている。</p>				
<p>子ども達に衛生的習慣が身につくよう声かけをして適切に支援している</p> <p>手洗いうがいの励行を通じて、子どもたちが衛生的な習慣を身に付ける支援を行っている。学校からの移動時やおやつ前、外遊びの後に、手洗いうがいが習慣化するよう声掛けを行っている。さらに、上級生からの声かけもあり子どもたちに浸透している。運営中に、適宜施設内や備品の清掃、消毒を行い、食中毒や感染症の発生の防止に努めている。また、子どもたちにも衛生管理の大切さを伝え、身の整理整頓や清掃の習慣づけを支援している。</p>				

サブカテゴリⅣ-7

保護者・学校との連携

評価項目 Ⅳ-7- (1)		評点 (〇〇)	
学校との連携			
評価	標準項目		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	子どもの様子を連絡帳、クラブだより、保護者会などを通じて保護者に伝えるとともに、必要な個人面談を行う等、保護者との信頼関係を築き、家族と連携して育成できるよう取り組んでいる	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	子どもの日常の様子を把握し、友達関係や行動等、気になることが見られる場合には、その理由や子どもの気持ちをくみ取るとともに、保護者と連携を密にし、適切な対応を図っている	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	③	保護者の信頼を得て身近な相談相手となれるよう努め、必要に応じて他の相談機関につなげている	
評価項目 Ⅳ-7- (2)		評点 (〇〇)	
学校との連携			
評価	標準項目		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	子どもの生活の連続性を保障するため、学校との連携を図っている	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	定期的に学校と情報交換を行うなど、連携を図っている	
カテゴリⅣ-7の講評			
子どもの様子を把握するため連絡帳、保護者会、個人面談などで積極的に情報共有している			
子どもの様子を保護者に伝えるために、連絡帳やクラブだより、保護者会などを通じて積極的に情報を提供している。保護者会は年に3回行われ、保護者の状況に合わせ2回は対面で行われ、1回はオンラインで開催している。オンライン開催は参加率が高い傾向がみられている。また、必要に応じて個人面談を行い、保護者との信頼関係を深め、連携を図っている。連絡帳で帰宅の時間や子どもの家庭での生活状況やクラブでの様子を共有し、その日の子どもの状況に応じた支援を検討・実施している。			
子どもの日常の様々な問題が早期に解決できるよう保護者との関係を大切にしている			
子どもにいつもと違う様子が見られた場合は保護者と連絡を取り合い、連携した対応を行っている。子ども同士のトラブルなどはすぐに聞き取りをして迅速に解決するよう努め、経緯や結果を双方の保護者に連絡している。迎え時には、職員が直接その日の子どもの様子を詳細に伝え、保護者の信頼を得られるよう努めている。子育てや家庭に関する相談も受け付けており、必要に応じて関係機関へつなげている。父母会等の機会を活かし、クラブの運営に関して協力を要請するなど、関係作りを大切にしている。			
学校とは様々な情報を共有することで連携し子どもたちの問題を解決している			
子どもの日常の様子は、保護者や担任の先生と情報共有を行い、包括的な把握に努めている。職員は其中で子ども同士の関係性の気づきを共有し、トラブル防止や関係性の再構築を支援している。毎月学校側と打ち合わせの機会を設けて、スケジュール等の情報交換と、子どもの様子について情報共有をしている。また、この学校との情報共有に関しては、個人情報に関わることもあることから、事前に保護者の意向の聞き取りと確認を行い、適切に取り扱うことを遵守している。			

サブカテゴリⅣ-8

子どもの権利擁護

評価項目 Ⅳ-8- (1)		子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている		評点 (〇〇〇)
評価	標準項目			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	①	職場倫理を具体的に明文化している		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	②	虐待等の子どもの心身に有害な影響を与える行為の禁止と早期発見について明確な規定を定めている		
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 非該当	③	職員による子どもの権利の侵害や虐待とみなされる行為の禁止について研修等を実施し、職員間で共有している		
<p>カテゴリーⅣ-8の講評</p> <p><b>職員一人ひとりが職場倫理のもとに育成支援を行っている</b></p> <p>市の学童クラブ育成指針に基づく職場倫理を基盤として、職員が遵守することを周知徹底し、定期的な読み合わせを行い、内容の確認をしている。職場倫理は各部屋に掲示し、確認を容易にすることで、職員の意識付けを深めている。館長は子どもの最善の利益となるような支援を常に念頭におけるように、ミーティング等の情報共有の場で職員の基本姿勢について伝えている。また、この中でグループワークを行い、これまでの支援を振り返り、職員全体で統一した支援の質の向上に取り組んでいる。</p>				
<p><b>不適切な支援が行われない職場環境の構築に努めている</b></p> <p>虐待を見た、聞いた、確認した時には、その報告・連絡経路が定められており、学校や子ども家庭支援センターと連携して対応する体制が整えられている。また、不適切な支援を防ぐために、日頃から職員間で声をかけあう職場環境づくりに努めており、日々の良好なコミュニケーションを重視している。これらの事項は児童虐待マニュアルの中に示されており、職員は研修や必要時に内容を確認し、適切な行動がとれるようにしている。また、市内の地域子ども館を含めた虐待に関する事例検討等を行い、虐待防止に向けた意識を高めていきたいとしている。</p>				
<p><b>子どもの権利を職員と子どもが一緒に考え、共通認識を持てるように、関係性を築いている</b></p> <p>子どもの権利擁護に関する知識を、外部研修や館内研修の中で深め、職場倫理の内容を遵守して育成支援をしている。職員は日々の関わりの中で、子どもが意見表明することを重視しており、時には代弁者となり支援をしている。また、「自主自立の力を育む」という基本方針に則り、子ども同士で権利の大切さを日々の活動の中から学び取れるように、職員は子どもの様子を常に見守り、必要に応じて助言や励ましをしている。これらの取り組みが、クラブ全体の雰囲気として醸成されており、お互いに認め合い、協力していく関係性が職員と子どもの中で培われている。</p>				

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	IV-5	適切なおやつや食事の提供
タイトル①	子供たちの自主性を大切にしたおやつの時間としている	
内容①	安全でおいしいおやつの提供を目指し、応急対応や事故防止に向けた研修を実施している。メニューは毎日複数用意して、子どもが選択できる機会を設けている。また、毎日の提供状況を記録し、以降の提供に向けて見直しをしている。上級生が中心となって、班の子どもたちのおやつの配膳を主導し、その後の清掃等も自主的に行っている。この子どもが主体となったおやつの時間を、伝統として引継ぐことで、子どもたちの責任感を育む時間ともなっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	IV-3-(5)	子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助している
タイトル②	自主的な行動力を育む育成支援を行っている	
内容②	行事は、事前に開催の可否を含めて、3年生会議や各学年の会議の中で内容を考え、意見を反映させている。これにより、子どもたち自身が準備や運営の中心となっている。班活動の遊びでは、上級生がインストラクターとなって、下級生に遊びを教えている。帰りの会では、司会が子どもたちの意見を聞き取る時間を設け、他者の意見を聞く大切さの意識付けをしている。自ら考えて判断する力や意見を発する力、他者の気持ちを理解する力を養い、子ども同士の関わりの中で、自主的に行動できるようになる育成支援を行っている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	I-3	事業計画の策定
タイトル③	今後の運営体制に向けて、その基盤となる職員の育成と教育に力を入れている	
内容③	館長は、職員一人ひとりの考えや意見を大切にしており、ミーティング等で自由な発言ができる雰囲気を作っている。この姿勢は、地域子ども館・学童クラブの運営にも同様であり、単年度の年間計画は、職員全体の意見を反映させて策定をしている。そのために、館長は市の第五次子どもプラン武蔵野や子ども協会の中期計画、地域子ども館や学童クラブの基本方針、年度の重点目標などの理解を深める為、ミーティング等の中で周知・確認をしている。今後は、職員一人ひとりが運営に関する方針や目標を理解し、職員全体で運営していくことを目指している。	

特に良いと思う点		
1	タイトル	伝承遊びや集団遊びなど多様な遊びを経験する機会を提供し、体験の場を広げている。
	内容	けん玉、コマ、めんこ、ベーゴマなどの伝承遊びを提供し、けん玉検定では、目標達成の証であるマイけん玉の贈呈に向けて、日々練習に励んでいる。あそべえと連携した工作の会や行事への参加も行い、子ども同士の交流を深めている。仲良し遊びの時間は、対抗意識を含めた集団遊びをするなど、目的意識や協力関係、ライバル意識など様々な感情が持てる遊びを展開している。
2	タイトル	異年齢との関係性の中から、コミュニケーションや気持ちを表現することの大切さを知る機会を提供している
	内容	異年齢による班活動は、おやつの時間における役割分担や、お店屋さんごっこでの活動、宿題をする際の座席の配列などを通じて、子どもたちが他者との関係を築く場となっている。学年別の会議があり、3年生会議では行事の是非について討議し、1～2年生は学年の役割を考え合う。学年独自の課題を話し合うことで、子どもたちはお互いの立場や考えを学び合っている。日常のコミュニケーションにおいても、「ありがとう」「ごめんね」の言葉を大切にし、自分の気持ちを言葉で表現することを大事にしている。
3	タイトル	保護者とは、より良い関係性の維持に向けて丁寧な対応を心掛け、高い信頼を得ている
	内容	入会時には、学童クラブの方針や運営方針を丁寧に説明し、運営の理解を得ている。日々連絡帳を活用し、内容は職員間で共有され、子どもに適切な対応ができるように努めている。保護者会は、参加しやすいようにオンラインでも実施し、多くの意見を聞く機会を設けている。希望者には個人面談を実施している。また、連絡帳に加えて、適宜子どもの様子を電話やお迎え時に報告していることから、保護者から安心感と信頼を得ている。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	子供の安全確保に向けた、ヒヤリ・ハット報告の活用に期待したい
	内容	事故やヒヤリ・ハット事例が発生した際には、育成日記に内容を記し、ミーティングや職員会議で内容の周知と防止対策の検討を行い、改善を図っている。事故報告書は市内の地域子ども館の年度内に提出されたものを、子ども協会が集計し、年度始めの館長会議で、傾向や経過と対応の内容を共有している。これまで、ヒヤリ・ハット報告があまり提出されない現状を改善するため、今年度は館長が主導して、フォーマットの見直しや、報告のルール等を検討し、テスト運用を行っている。職員の気付きを増やし、未然の事故防止となるようなヒヤリハット報告の運用に期待したい。
2	タイトル	職員の運営に関わる関心を高め、年間計画作成の新たな取り組みに期待したい
	内容	市の策定している第五次こどもプラン武蔵野と、こども協会が策定している中期計画の内容をふまえて、地域子ども館・学童クラブの単年度計画を策定している。この単年度計画は館長の方針により、職員全体の意見を反映させたものとなるよう、会議等の中で話し合い、作り上げている。この会議の中で館長は、都度、市のプランや協会の計画の内容をふまえて、基本方針に沿ったものとなるよう職員に助言を行い、話し合いの方向性を修正している。今後は職員にプランや計画の内容理解に向けてさらに取り組むことで、職員全体の運営への関心を高め、全体の意見がこれまで以上に盛り込まれた計画が策定されることに期待したい。
3	タイトル	職位と役割を明確にし、より強固な組織作りに向けた取り組みに期待したい
	内容	館長はあそべえと学童クラブのトップとして、日々の育成支援や子どもの様子、職員の働き方などを細かく目配りし、必要な指導と助言を行っている。また、地域との関わりにも積極的に出向き、子どもの地域生活が豊かになるよう、働きかけている。現在、館長の業務をサポートする主任の役割について検討が行われており、役割や職位の基準などの仕組みづくりに取り組んでいる。より強固な組織作りに向けて、職員の育成と適切な役割分担が行われることに期待したい。